

日本汎太平洋東南アジア婦人協会 国際会議年表

回	年	開催地	参加 国数	会議テーマ、討議の議題
1	1928	ハワイ	13	教育・保健・社会事業・労働婦人・婦人と政治
2	1930	ハワイ	10	教育・政治・保健・労働社会事業(規約制定)
3	1934	ハワイ	10	教育・家政・労働・保健・社会問題・国際関係
4	1937	カナダ	10	汎太平洋地域における平和の推進
	1940	NZ (戦争のため中止)		国際理解促進の実際的手段・方法の研究
5	1949	ハワイ	10	太平洋の婦人達を国際連合のために手をつなぐ
6	1952	NZ	19	今日の世界における太平洋
7	1955	フィリピン	20	社会的経済的相互依存
8	1958	日本	22	地域共同社会の発展と婦人の役割
9	1961	オーストラリア	17	変化する世界と女子教育
10	1964	トンガ	13	人類の文化遺産の保存と婦人の役割
11	1968	ハワイ	16	世界人口増加のもたらす諸問題
12	1972	NZ	17	現代社会における家族
13	1975	韓国	11	女性と環境(国際婦人年)
14 (50周年)	1978	西サモア	11	拡大する女性の世界
15	1981	アメリカ	18	婦人の生涯教育と訓練
16	1984	日本	20	家族と健康を焦点に
17	1988	オーストラリア	19	世界はひとつ、みんなの世界
18	1990	タイ	22	変わりゆく世界 私たちの伝統と未来
19	1994	トンガ	21	知性豊かな女性こそ国の柱
20	1997	マレーシア	20	21世紀に向けて、よりよい世界をめざして、連携を強めよう
21	2000	クックアイランド	22	平和の力を燃え上がらせよう
22	2004	シンガポール	19	平和の文化を分かち合おう
23	2007	NZ	14	女性の創る平和が世界を変える
24	2010	インドネシア	16	多様性の中一致を通して平和を
25	2013	フィジー	14	調和ある社会構築のための環境の役割
26	2016	マレーシア	13	持続可能な平和な未来のための環境への敬意・尊重
27	2019	台湾		「よく生きること」への人生の旅

国際会議・中間会議

3年毎に加盟国で開催されるパシイワ国際会議、国際会議の翌年に開催される中間会議には日本からも多数の会員が参加、互いをパシイワ・シスターズと呼び理解を深め、友情を育んでいます。

国際パシイワ中間会議

1996年 アビア/西サモア 1998年 ホノルル/ハワイ
 2002年 武蔵嵐山・東京/日本 2005年 アビア/西サモア
 2008年 ホノルル/ハワイ 2011年 台北/台湾
 2014年 シカゴ/アメリカ合衆国 2017年 バンコク/タイ



2016年国際会議(於マレーシア) 2017年中間会議(於タイ)
 会長によるカントリー・レポート 会場風景

入会案内

正会員：本会の目的に賛同する18歳以上の女性で、パシイワ加盟国の国籍を持ち日本にお住まいの方

準会員：日本に6ヶ月以上滞在予定の加盟国の会員で、役員会の承認を受けた女性

賛助会員：本会の目的に賛同する男性

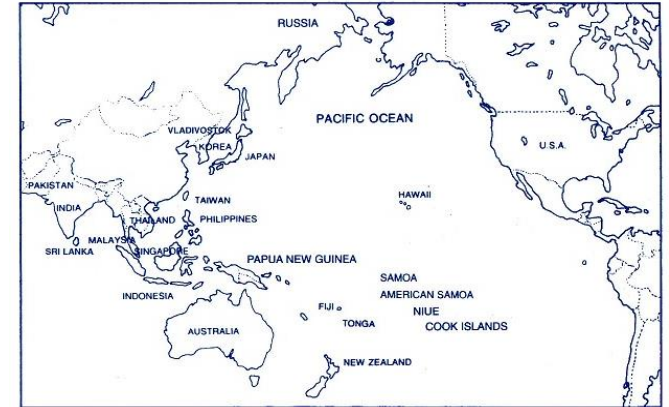
本部会費：正会員 5,000円、賛助会員 3,000円

支部会員：別途定める

本部事務所：〒167-0042 東京都練瓦区西荻北3-13-4-301

TEL/FAX 03-6672-3061

http://www.sugi-chiiki.com/ppseawa_j/



日本汎太平洋東南アジア婦人協会 日本パシイワ

*Pan Pacific and Southeast Asia Women's Association
of Japan*

女性・家族・社会・文化
互いに学び、平和と発展に協力する国際 NGO

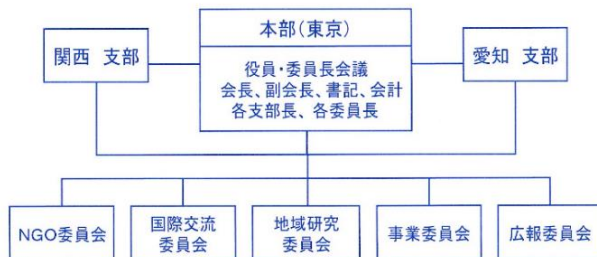


沿革

- 1928年 ハワイ・ホノルルで最初の汎太平洋婦人会議開催
日本からは市川房枝氏、藤田たき氏ほか各界代表20名が出席 議長はジェーン・アダムス女史(1931年ノーベル平和賞受賞)
- 1952年 汎太平洋婦人委員会日本委員会が国際会議に代表者を送る。
- 1955年 会の名称に東南アジアが加わり、汎太平洋東南アジア婦人協会となる。
- 1958年 東京で初の国際会議開催
- 1977年 名称を日本汎太平洋東南アジア婦人協会に変更 規約・機構も改正
- 1984年 東京で2回目の国際会議開催
(国際会議は3年毎に各加盟国の回り持ちで開かれる)
- 2000年 国際パシイワは、国連経済社会理事会との間で協議資格をもつ団体(CoNGO)における20理事団体の一つに選ばれた。
- 2002年 東京で初の中間会議開催
(中間会議は国際本会議の翌年開催される)
- 2012年 組織活動の活性化に伴い規約・細則の改正

加盟国と地域 オーストラリア、カナダ、クックアイランズ、フィジー、ハワイ、インド、インドネシア、日本、マレーシア、ニュージーランド、パキスタン、韓国、サモア、タイ、台湾、トンガ、アメリカ合衆国

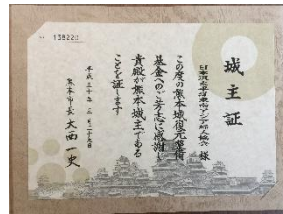
日本パシイワ組織図



活動

パシイワは国際平和に貢献することを目的としています。毎年9月には、国連平和の日になんで平和を考える集まりを催します。加盟国持ち回りの国際会議への参加と、国内での国際交流を通して、太平洋地域の人々との友好と理解を深めます。他の多くの女性NGO/NPOと連携し、講演会・勉強会にも参加しています。また内閣府男女共同参画推進連携会議において議論・提言を行っています。

人のために何かをなす喜び—学んだことを生かすアウトプットの機会と場を作っていくこと。次の世代へ参加を広げること。更に成長を続けたいと願っています。



2016年熊本大地震への寄付で「熊本城」の城主に。同じパシイワNYも城主になりました



日本在住台湾女性との交流会



加盟国からの留学生を囲んで。和服を着て日本の家庭料理を味わう



フィジー大使館からスピーカーを招いた講演

若手支援

次世代を担う若者の国際的な活躍を願って会員の寄付による若手会員支援基金が設立され、パシイワ国際会議やCSW(国連女性の地位委員会)への出席および研究・発表を支援しています。また国際パシイワによる国際会議参加の補助制度もあります。



CSW サイドイベントに参加



マレーシア国際会議にて

ユースの会

各国の女性の地位に関する勉強会開催。内閣府男女共同参画局主催の「次世代への働きかけ」チームへの出席、各国のユースとの交流を行います。

支部

関西支部と愛知支部があります。日本パシイワとしての活動の他、それぞれが独自に講演会、勉強会、バザー、バスツアーなどを行っています。



関西支部例会
若手会員 CSW の報告会
(会員宅にて)



愛知支部例会
親睦バスツアー
(奈良・春日大社にて)